



2025年12月19日

コスモエネルギーホールディングス株式会社
S-Bridges 株式会社

S-Bridges 社に出資、業務提携契約を締結

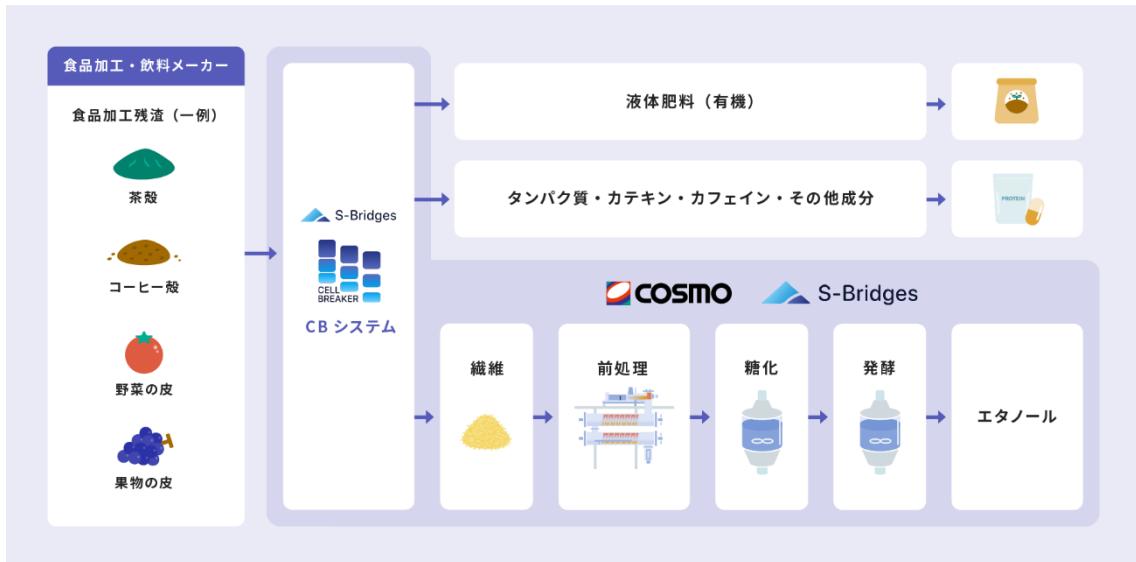
～植物の無消費素材を有価物化、資源循環社会の実現に向け事業化を加速～

コスモエネルギーホールディングス株式会社（代表取締役社長：山田 茂、以下「コスモエネルギーホールディングス」）は、植物の無消費素材の有価物製造および副産纖維からのバイオエタノール製造事業の加速に向け、S-Bridges 株式会社（代表取締役：長門 貴、以下「S-Bridges」）へ出資を実行し、業務提携契約を締結したことをお知らせします。

■共同検討を進める無消費の植物由来バイオエタノール製造事業について

S-Bridges は、植物の未利用資源を 100% 有価物化することをめざしており、食品加工のプロセスで未利用となっている植物素材（茶葉やコーヒー原料など）の食品未加工を含む無消費素材からタンパク質、液肥原料などの有用成分を抽出する「Cell Breaker®」システム（以下「CB システム」）を有しています。この CB システムによる有用成分の抽出工程では、セルロース系纖維が副次的に得られます。コスモエネルギーホールディングスは、このセルロース系纖維を非可食由来のバイオエタノールの原料として活用することに着目し、2025年9月より S-Bridges と共同検討を開始しました（※1）。

本取り組みにより、工場および農場で無消費となっている植物素材を有効活用し、有用成分と同時に得られるセルロースを原料とすることで、原料コストの低減やエタノール製造プロセスの効率化が期待でき、ゼロエミッションに貢献し、サーキュラーエコノミーを実現させます。今後は、国内の食品・飲料工場への展開を通じて、国産由来の安価なエタノール供給や資源循環、エネルギー効率の向上をめざします。



共同検討のイメージ

■Vision2030への寄与

本件は、コスモエネルギーが掲げる中長期目標「Vision2030」における「石油事業の競争力強化・低炭素化」に資する具体的な施策の一つです。エタノールを含む次世代燃料原料の安定確保を通じ、低炭素社会の実現に向けた取り組みを加速します。

【コスモエネルギーについて】

コスモエネルギーは、コスモエネルギーホールディングス株式会社およびそのグループ会社から構成され、エネルギーの安定供給と関連するサービスを提供しています。「2050年カーボンネットゼロ」を宣言し、Vision2030 および第7次連結中期経営計画のもとで脱炭素に関する取り組みを加速させています。「私たちは、地球と人間と社会の調和と共生を図り、無限に広がる未来に向けての持続的発展をめざします。」というグループ理念のもと、社会的課題の解決と企業の持続的発展をめざしています。

【S-Bridges 株式会社について】

国立静岡大学発ベンチャー企業として、「植物素材を全て使い切る」 Bio Material Transformation (Green Tech) 事業を通して、はじめにドリンク原料市場においての完全サーキュラープラットフォームを構築します。また、継続して Nature Positive を実現化するプラットフォームを構築し、持続的発展可能な社会の構築への貢献をめざしています。

※1 2025年9月1日プレスリリース

<https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/information/press/2025/250901-01.html>

以上